

兵庫の林業

シカ防護柵はいつまで設置し続ければよいのか？
令和4年度林業普及指導事業の重点事項と進め方



もくじ

| | |
|---------------------------------|---|
| 令和4年度県功労者表彰被表彰者等 | 1 |
| 県6月補正予算の概要 | 1 |
| 森林ボランティア活動 | 2 |
| 狩猟免許試験のご案内 | 2 |
| △技術シリーズ▽ | |
| 「植栽地を囲ったシカ防護柵はいつまで設置し続ければよいのか？」 | 3 |
| 住まいづくりフェア2022 in アクリエひめじにブース出展 | 4 |
| 林業普及指導事業の重点事項と進め方 | 5 |
| △普及だより▽ | |

| | |
|---------------------------------|----|
| 「森林環境教育」村岡・小代地区小学校自然学校での間伐体験 | 7 |
| 林業従事者向け研修 | 8 |
| 「六甲山の災害展」の開催について | 8 |
| 県内の原木市況等 | 8 |
| 兵庫県立森林大学校主催研修の募集について | 9 |
| 県産広葉樹苗木生産者育成研修のご案内 | 10 |
| 日本伐木チャンピオンシップに挑戦 | 10 |
| △研究報告▽ | |
| 「スキ大径材から得られた上下心去り平角の曲げ性能と材面の品質」 | 11 |
| 「ひょうごの木物語」第2回(裏表紙題字) | |
| 兵庫県知事 齊藤元彦氏 | |

表紙の写真

日本伐木チャンピオンシップ(本年5月青森市にて)に北但西部森林組合作業班の精鋭五人が挑戦した。伐倒競技や輪切り競技など五種の合計点で順位を競う。決勝上位三人には、世界大会出場の権利が与えられる。詳細は10ページをご覧ください。

写真は、左から、久田和幸(50)、中川憲悟(41)、志田大輔(44)、森下克好(54)、中村政樹(46)五人の雄姿。

令和4年度 県功労者表彰被表彰者の皆様

兵庫県功労者知事表彰(農林水産功労)

野村俊彰氏
大知木材株式会社 代表取締役



主なご功績

平成19年5月に神戸木材協同組合(現神戸木材業協同組合)の理事就任以来、かねてより懸案であった神戸木材仲買協同組合との合併にあたり、中心となって遂行されるなど、協同組合運営に道筋をつくら

れ、組合体制の強化に大きく貢献されました。

また、県民に木材の良さを知ってもらう「ひょうご木材フェア」等の出展企画に積極的に加わり、特に令和2年度に兵庫県産木材利用推進協議会の会長に就任された後は、「都市の木造・木質化推進キャンペーンin元町」を開催するなど、新たな木材利用の普及活動に取り組みました。

さらに、「合法木材供給事業者認定団体」(神戸木材業協同組合)の認定委員として、木材産業関係施策の研修会等の開催や、61事業者(令和3年度現在)の合法木材供給業者の認定により、トレーサビリティが求められる公共建築物への納材がスムーズになり事業の円滑化に大きく寄与されています。

環境保全功労者知事表彰

特定非営利活動法人
鮎屋の滝ふれあいの郷



主なご功績

同法人は、洲本市鮎屋地区周辺において、かつて広がっていた緑豊かな自然を取り戻すため、森林整備を始めとする環境保全活動に取り組んできました。また、市教育委員会が主催する環境教育に参画するなど、地域住民等の環境保全意識の向上にも大きく貢献してきました。

これらの長年にわたる功績が高く評価され、令和4年度環境保全功労者知事表彰を受賞されることとなりました。令和4年6月1日に兵庫県公館にて開催された「地球と共生・環境の集い2022」では、服部副知事より表彰状と記念品が手渡され、会場は大きな拍手に包まれました。

「森林ボランティア活動」

特定非営利活動法人鮎屋の滝ふれあいの郷

代表
小嶋 良一

洲本川の源流にある鮎屋地区は、名前のとおり鮎がすみかとしていた地。しかし、いつの頃からか不法投棄が繰り返され、ゴミの地になりかけていました。その時、昔からあった自然を取り戻そう！ホテルの住む澄んだ溪流を、淡路一の滝を、シイの木・クスノキ等の常緑樹林の森を、そして昔の地図にも記載されていた温泉を自らの手で守ろうと、声があがりはじめました。

そこで、豊かな自然を取り戻すとともに、「ふれあいの郷」としてみんなにも自然に触れてもらうため、雑木林や竹林を整備し、来訪者に解放しました。

また、鮎屋温泉を再び利用していただきたい思いで、平成24年にNPO法人鮎屋の滝ふれあいの郷を立ち上げました。



展望台から望む

る滝です。コロナ禍以前より、観光客は年々増加傾向でしたが、新型コロナウイルスの流行で近距離の国内旅行が好まれたこともあり、今ではこれまで以上に、多くの方に足を運んでいただいております。

その他に、県の里山ふれあい森づくり(ミニ里山公園型)で整備した散策道や展望台を巡るウォーキングイベントが毎年開催され、当法人が案内人を務めています。

現在は、特に滝周辺の環境整備に注力しています。具体的には、硫黄泉の家族向け貸切風呂や、豊かな自然を大人も子供も満喫できるオートキャンプ場、秋には栗の収穫が楽しめる農園の整備などを計画しています。

誇れる環境を取り戻し、皆で守る！そんな郷づくり活動を担ってまいりますので、ご関心をお寄せいただければ幸いです。



鮎屋の滝

県6月補正予算の概要

県産木材価格高騰対策事業

コロナ禍に加え、令和3年以降のウッドショック等の影響による木材価格の高騰により、木材住宅建築の消費者負担が増大となり、住宅着工の減少が見込まれることから、県産木材を利用した新築・リフォーム住宅に対して工務店を通して建築費の一部を建築主に還元します。

《制度概要》

- 対象者
兵庫県内に事業所または事務所を置いている建設業者
- 対象経費
・県産木材を30%以上利用した住宅の新築にかかる工事費
・内装に県産木材を30㎡以上利用するリフォーム工事費

～建築費を最大80万円還元します！～

- 助成額(1件あたり)
- 【新築】
 - ・30%以上50%未満:30万円
 - ・50%以上80%未満:50万円
 - ・80%以上:80万円
- 【リフォーム】
 - ・30㎡以上:20万円
 - (ただし、建築主に助成金相当を還元すること)
- 申請期間
令和4年6月22日(水)～令和5年2月17日(金)
※工事契約前の申請が必要
- 問い合わせ先
ひょうご森づくりサポートセンター
〒650-0012神戸市中央区北長狭通5-5-18
TEL:078(371)0607 FAX:078(371)7662

令和4年度狩猟免許試験のご案内

兵庫県では、今年度も次のとおり狩猟免許試験を実施します。多くの方が免許を取得されまよう、ご案内いたします。

【お問い合わせ先】
環境部自然・鳥獣共生課
(078)1362134(六三)

初心者狩猟講習会のご案内

狩猟免許試験を受験される方を対象に、一般社団法人兵庫県猟友会が知識・技能に関する講習会を実施しています。詳しくは、兵庫県猟友会までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

(一社)兵庫県猟友会
(078)3611827

【講習会の日程と場所】

◇網・わな
申込期間
7月6日(水)～7月20日(水)

開催日
8月6日(土) 神戸市

◇第一種・第二種

申込期間
7月6日(水)～7月27日(水)

開催日
8月20日(土) 神戸市

- 【狩猟の楽しみと公益性】
狩猟は、ハンティングや料理を楽しむという魅力のほか、農林業被害を与える野生動物の生息頭数を適正に管理するという公益性も兼ね備えています。
- 【免許の種類】
・網猟(主に鳥類)
・わな猟(獣類のみ)
・第一種銃猟(装薬銃、空気銃)
・第二種銃猟(空気銃)
- 【試験の日程と場所】
- ◇申込期間
7月19日(火)～8月12日(金)
- ◇知識・適性・技能試験日及び場所
8月29日(月) 神戸市
9月3日(土) 神戸市
9月16日(金) 神戸市
11月26日(土) 姫路市※

※姫路市は「わな猟試験」のみ実施



● 植栽地を囲ったシカ防護柵はいつまで設置し続ければよいのか? ●

兵庫県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター 伊東 康人

1. はじめに

ニホンジカ（以下、シカ）の生息密度が高い兵庫県では、伐採跡地等に樹木を植栽する際、シカ対策が欠かせません。代表的なシカ対策として、植栽地の周囲にシカ防護柵（以下、シカ柵）を設置する方法がありますが、シカ柵は、設置すれば終わりではなく、破損が生じれば、その都度、補修するといった定期的なメンテナンスが不可欠です。

シカ柵はいつまで設置し続ける必要があるのでしょうか。一般的に、シカの口が届く高さは、2m程度と言われていますが、植栽木がその程度の樹高になれば、シカ柵を撤去してもよいのでしょうか。そこで、当センターが2012年から2021年まで実施した「広葉樹林化促進パイロット事業における調査・検証」の中で、植栽地に設置したシカ柵を植栽後6年目（2020年）に開放し、開放直後（以下、0年目）及び翌年に植栽木及び植栽木の生存に影響を与える植生変化について調査した結果から考察します。

2. 調査及び解析方法

調査は、宍粟市一宮町で実施しました。2014年に人工林を小面積皆伐し、クリ、コナラ、ヤマザクラの落葉広葉樹3種を植栽し、2箇所の調査地を設置しました。調査地では、シカ柵を設置し、定期的なメンテナンスを続けていたので、シカの侵入は確認されませんでした。調査地のうち1箇所を半分は仕切り、シカ柵で囲った区（シカ柵区）とシカ柵の一部を開放した区（開放区）に分けました（図1、写真1）。両区に5m×5mの調査プロットを3箇所ずつ設置し（図1）、調査プロット内の植栽木の生死及び樹高、植栽木以外の木本植物の樹種名及び樹高を記録しました。植栽木以外の木本植物は、0年目時点の樹高を、シカの影響がない樹高（2m以上）と影響がある樹高（2m未満）に分けて、解析をしました。

3. 結果及び考察

シカ柵区では、植栽木の枯死率は0%でした（表1）。植生調査では、樹高2m以上の幹は、本数（0年目→1年目）が35本→34本とほとんど変化せず（表1）、タニウツギ、ムラサキシキブが多く出現し、樹種の構成も1年間でほとんど変化がありませんでした。樹高2m未満の幹は、本数が69本→49本と減少し（表1）、タニウツギが多く出現し、

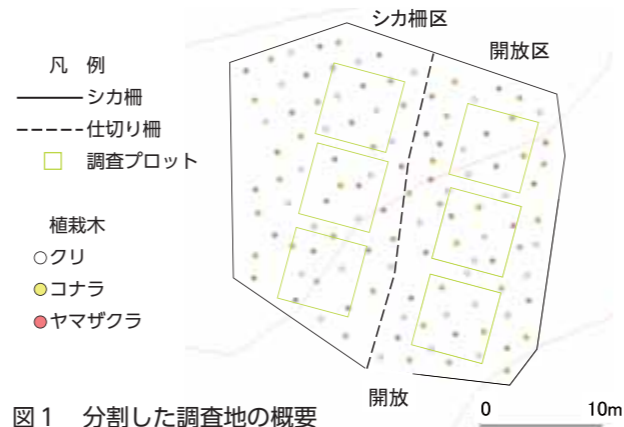


図1 分割した調査地の概要



写真1 開放区に侵入したシカ（センサーカメラ撮影）

1年後にはタラノキ（5本→0本）、ヌルデ（9本→2本）が消失または減少しました。タラノキ、ヌルデは日当たりの良い場所を好む先駆樹種であるために、シカの影響とは関係なく、周辺木に被陰され枯死したと考えられます。

開放区では、シカ柵区と同様に植栽木の枯死率は0%でしたが、平均樹高が2m未満であったコナラの樹高がマイナス成長を示しました（表1）。植生調査では、樹高2m以上の幹は、本数が17本→11本と減少し（表1）、カラスザンショウが多く出現し、1年後にはタニウツギ（2本→0本）、ヌルデ（1本→0本）が消失しました。樹高2m未満の幹は、本数が96本→53本と大きく減少し（表1）、スギが多く出現し、1年後にはタニウツギ（23本→2本）、ヌルデ（12本→3本）が減少しました。タニウツギの減少は、シカ柵区ではほとんど見られない（13本→12本）ことから、周辺木による被陰ではなく、シカによる影響の可能性があります。一方、ヌルデの減少は、シカ柵区と同様に周辺木に被陰されたのが原因だと考えられます。

植栽木は、開放区では1本も枯死していないことから、現時点（シカ柵開放後1年目）では、植栽後6年目のシカ柵開放は問題がなかったと言えます。しかし、シカ柵を開放してからまだ1年間しか経過していないため、今後、開放区で樹高2m以上のタニウツギ、ヌルデが消失したように、樹高2m以上の植栽木がシカの影響を受け、枯死する可能性も否定できません。

また、シカ柵を開放すると、2m未満の樹高の低い幹、いわゆる下層植生が減少することも分かりました。下層植生が減少することによって、植栽木がシカに食べられやすくなる可能性も考えられます。また、将来、多様な樹種で構成され、多面的な機能が十分に発揮される森林を目指すのであれば、植栽木だけでなく下層植生の維持は重要です。そういった視点では、植栽後6年目のシカ柵開放は時期尚早と言えます。

シカ柵をいつまで設置し続けるかは、シカ柵で植

栽木だけを守るのか、植栽木と下層植生の両方を守るのかによって異なりそうです。今後、調査を継続し、データを蓄積していくことで、守るものに応じたシカ柵の開放時期が明らかになるかもしれません。

表1 出現した木本植物の幹本数、平均地際径、平均樹高の年変化（0年目が調査開始時点）

| 植栽木 | シカ柵区 | | 開放区 | |
|----------------|-----------|---------------|---------------|-------|
| | 0年目 | → 1年目 | 0年目 | → 1年目 |
| クリ | 幹本数 (本) | 5 → 5 | 4 → 4 | |
| | 平均樹高 (cm) | 238.6 → 355.4 | 296.5 → 323.5 | |
| コナラ | 幹本数 (本) | 3 → 3 | 6 → 6 | |
| | 平均樹高 (cm) | 133.7 → 157.7 | 137.5 → 130.8 | |
| ヤマザクラ | 幹本数 (本) | 5 → 5 | 4 → 4 | |
| | 平均樹高 (cm) | 540.0 → 655.8 | 670.0 → 715.5 | |
| 植栽木以外 (樹高2m以上) | 幹本数 (本) | 35 → 34 | 17 → 11 | |
| | 平均樹高 (cm) | 316.2 → 369.8 | 322.2 → 373.9 | |
| 植栽木以外 (樹高2m未満) | 幹本数 (本) | 69 → 49 | 96 → 53 | |
| | 平均樹高 (cm) | 55.4 → 66.6 | 60.3 → 41.7 | |

「住まいづくりフェア2022 in アクリエひめじ」にブース出展 兵庫県木材業協同組合連合会

令和3年10月に「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行され、公共建築物だけでなく民間建築物を含む建築物一般での木材利用の促進が国を挙げて実施されることとなり、当連合会としても更なる木材の利用促進を図るため、6月4日・5日の2日間にわたって姫路市内で開かれた「住まいづくりフェア2022 in アクリエひめじ」にブース出展しました。

このフェアは播磨地域で更なる住宅関連産業の活性化と「住まい」を取り巻く「暮らし」全体を含めた総合的な情報提供の場を提供するため播磨リビング新聞社が開催。播磨エリアのハウスメーカーや工務店、金融機関や電力会社など42社がブースを出展し、住まいづくりの相談に対応、家づくりに役立つセミナーなどが開催され、2日間で約2,000人が来場しました。

当連合会のブースでは、木造住宅等総合相談コーナーを設置。兵庫県産のスギ・ヒノキを使ってJAS認証工場で製造された構造用集成材やフリー板で製作された木製本棚、高強度梁仕口「TajimaTAPOS」



出展ブースの様子

のサンプル、芯取り平角材などを展示するとともに、木造住宅の設計や建築に関わる相談、兵庫県産木材の利用や入手方法、「ひょうごの木の家」設計支援事業の説明・PR活動などを行いました。

ブース内に併設した兵庫県産のスギのフローリングを敷いたキッズスペースでは、来場された親子連れが木製すべり台や木製おもちゃで楽しく遊び、木材に触れて親しんでいました。

屋外エリアでは、姫路木材協同組合の協力を得て木工広場を開設。約85組の家族連れが参加し、兵庫県産木材等の端材を使って小型のイスやテーブル、木メダルを製作。普段工作をしない参加者もスタッフの助言により作品を作り上げるなどし、大いに賑わっていました。



家族連れで賑わう木工広場

セミナーエリアでは、ひょうご木の匠の会・日置尚文会長が登壇し、「木の家は健康に良い理由」と題して講演が行われ、「脱炭素社会を目指せる」「補助金を利用して家計にも優しい」など、兵庫県産木材を建築資材に使うメリットも紹介され、参加者は熱心に聞き入っていました。

今回の出展は、当連合会としては初めての取組で、各方面から好評を得ており、木材の利用促進に効果的であることから、引き続き実施していきたいと考えています。（奈良垣 貴司）

令和4年度林業普及指導事業の重点事項と進め方

兵庫県農林水産部 林務課

■はじめに

国が定める林業普及指導運営方針（以下「運営方針」）については、おおむね5年ごとに現状に応じた見直しが行われ、令和4年3月に改正されました。

主な内容として、前平成29年改正からの間、森林経営管理制度や森林環境税・森林環境譲与税が創設されたことに加え、昨年6月には、新たな森林・林業基本計画が閣議決定されたことを踏まえ、①「新しい林業」の展開に向けた取組を推進するため、ICT等を活用したスマート林業、成長等の優れたエリートツリー等を活用した造林の省力化などの取組への支援、②森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用した森林整備等の取組を推進するため、市町村への指導・助言を明文化などです。これら国の運営方針の改定により、県の定める林業普及指導実施方針も見直しを行い、当方針に基づき、地域に密着した課題に対応するため、林業普及指導員を次頁の職員名簿のとおり合計43名を配置しています。

そして、3つの普及指導区（阪神・淡路、中播・西播、但馬・丹波）ごとに重点事項を設定し、主伐・再造林の推進、原木の安定供給体制の構築や木材の活用促進など、地域の様々な課題に対応することとしています。

また、森林林業技術センターの林業専門技術員が各事務所の林業普及指導員と連携して課題解決に向けて取り組むほか、最新の知識や技術の提供、コーディネート等を積極的に行います。

■令和4年度林業普及指導事業の重点事項

1 スマート林業の展開

森林クラウド、ドローンやGNSS、レーザ測量等を活用した森林資源情報の作成と共有、事業計画の作成を支援します。

2 県産木材の利用拡大と加工流通体制の強化

県産材の魅力や、利用することで森林整備が進むことを啓発するとともに、公共施設等の木造・木質化や住宅・民間施設などへの県産木材の利用拡大を進め、さらにニーズに応じた安定的な供給体制の構築を推進するため、製材工場の設備等導入を支援します。

また、木材の魅力を活かした内装材などの木材製品の生産や輸出など木材販売経路の多様化の取組を支援します。



木材市場において木材流通の勉強会を実施

3 森林資源の循環利用と林業経営の効率化

木材生産と環境保全の調和がとれた森林へ誘導するため、林業経営に適した人工林と、奥地等の条件不利な人工林とのゾーニングや、市町が実施する森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用した森林整備を支援します。

また、安全かつ効率的な木材生産体制を確立するため、路網の整備や、高性能林業機械の導入に取り組む市町や林業経営体を支援します。

併せて、地域条件に適した低コストで効率的な主伐・再造林を森林林業技術センター等と連携して取り組み、森林資源の循環利用による持続的かつ安定的な木材の供給を目指します。

さらに、森林組合や民間事業者等の林業技術者の育成・確保を図るため、県立森林大学の講義・実習のほか、就業支援講習やガイダンス等、新規就業者の確保対策を支援します。



主伐・再造林地において獣害防除方法を検討

4 野生動物の管理や被害対策の推進

野生動物の捕獲による適正な個体数管理、獣害防護柵の設置、専門家による捕獲指導など集落ぐるみの取組など被害対策を支援します。

このほか、捕獲した野生鳥獣の肉等の有効活用や

市町と連携した特定外来生物による生活被害防止等の取組を支援します。

5 バイオマスの活用を通じた地域活性化の推進

林地残材等の未利用材の積極的な搬出利用を促すなど、木質バイオマス発電所への計画的・安定的な燃料用木材の供給に向けた取組を支援します。

6 森林の適正管理の徹底による公益的機能の維持・向上

市町と連携した「新ひょうごの森づくり」や森林環境譲与税の活用による森林の適正管理を進めます。また、地域住民、森林ボランティア等による森林の保全管理活動などの里山林整備の取組を支援します。

7 森林の防災機能の強化を図る「災害に強い森づくり」の推進

災害の危険性が高い人工林における、災害緩衝林や簡易流木止め施設、間伐木を利用した土留工の設置等の整備、手入れ不足の高齢人工林における針葉樹林と広葉樹林への混交整備、また、集落裏山や六甲山系の災害の危険性が高い里山・都市山における危険木の除去、簡易防災施設の設置などの整備、さらには、野生動物被害が深刻な地域でのバッファゾーンの設置や広葉樹林整備を実施する「災害に強い森づくり」の取組を支援します。

8 森林病虫害被害対策の推進

ナラ枯れや松枯れ被害に対し、守るべき森林等の被害状況の把握と適切な防除（予防・駆除）による被害の拡大防止など、森林の機能保全の取組を支援します。

9 県民総参加による森づくりの推進

イベントや森林環境教育の機会を通じて、森林の持つ多面的機能や森林整備の必要性を普及啓発し、森林環境譲与税や県民緑税に対する県民の理解を深めるよう努めます。また、森林ボランティアや企業等、多様な主体による森づくり活動を支援します。

10 関係機関との協力体制の構築

森林計画制度の運用について、現場を担う市町と連携を図るとともに、ひょうご森づくりサポートセンターや森林施業プランナー、森林組合等林業経営体との間での情報収集・提供に努めます。さらには、新たに開発された技術・知識の普及・定着を図るため、森林林業技術センターと協力し、森林経営計画や路網計画の作成・実行、森林環境譲与税の活用に向けて技術的な支援や施策推進に必要な助言・指導等を行います。

以上、皆様とともに「多様で健全な森林を次代につなぐ」取組を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（林政調整班主幹（林業普及担当）倉橋路枝）

令和4年度 林業普及指導職員名簿

| 職名 | 氏名 | 普及指導区 |
|------------------------|--------|-------|
| 林務課 (1名) | | |
| 林政調整班主幹 | 倉橋 路枝 | 全県 |
| 森林林業技術センター (3名) | | |
| 林業専門技術員 | 尾崎 真也 | 全県 |
| 林業専門技術員 | 小長井 信宏 | 全県 |
| 主査 | 山下 毅 | 全県 |
| 県立森林大学校 (1名) | | |
| 主査 | 大黒 明子 | 全県 |
| 森林動物研究センター (1名) | | |
| 森林動物専門員 | 田口 彰 | 全県 |
| 計 | 6名 | |

| | | | |
|-------------------------|--------------------------|-------------|-------------|
| 阪神・淡路 | 神戸農林振興事務所 (4名) | | |
| | 森林課長 | 上川 総司 | 神戸市 |
| | 農政専門員 | 土井 幸亮 | 神戸市 |
| | 課長補佐 | 南都 義道 | 神戸市 |
| | 課長補佐 | 下田 惣一 | 神戸市 |
| | 阪神農林振興事務所 (2名) | | |
| | 里山・森林課長 | 上村 公浩 | 管内全域 |
| | 職員 | 森本 祥子 | 管内全域 |
| | 加古川農林水産振興事務所 (3名) | | |
| | 森林課長 | 紙本 雅弘 | 加古川市 |
| | 農政専門員 | 柴原 隆 | 高砂市 |
| | 主任 | 谷 俊徳 | 明石市・稲美町・播磨町 |
| | 加東農林振興事務所 (3名) | | |
| | 所長補佐兼森林課長 | 大津賀 秀樹 | 管内全域 |
| | 主査 | 畷井 良幸 | 西脇市・加西市・多可町 |
| 職員 | 森本 麻友美 | 三木市・小野市・加東市 | |
| 洲本農林水産振興事務所 (2名) | | | |
| 所長補佐兼森林課長 | 上野 茂樹 | 管内全域 | |
| 課長補佐 | 千坂 竜一 | 管内全域 | |
| 計 | 14名 | | |

| | | | |
|-------|-------------------------|-------|---------------|
| 中播・西播 | 姫路農林水産振興事務所 (5名) | | |
| | 森林専門員 | 新見 満 | 管内全域 |
| | 農政専門員 | 藤井 孝明 | 福崎町 |
| | 課長補佐 | 浅田 知宏 | 神河町 |
| | 主査 | 石坂 知行 | 市川町 |
| | 主任 | 鈴木 大智 | 姫路市 |
| | 光都農林振興事務所 (6名) | | |
| | 所長補佐兼森林第1課長 | 谷口 英樹 | 管内全域 |
| | 課長補佐 | 有元 正彦 | 宍粟市波賀町・千種町 |
| | 課長補佐 | 平野 修之 | たつの市・太朗・船橋・上関 |
| | 課長補佐 | 高山 勉 | 宍粟市山崎町 |
| | 主任 | 大橋 正勉 | 佐用町 |
| | 主任 | 宗接 聖史 | 宍粟市一宮町 |
| | 計 | 11名 | |

| | | | |
|-------|-------------------------|--------|--------------|
| 但馬・丹波 | 豊岡農林水産振興事務所 (4名) | | |
| | 森林課長 | 岡田 英樹 | 美方郡 |
| | 課長補佐 | 福田 祐介 | 豊岡市 |
| | 主査 | 溝口 達普 | 豊岡市 |
| | 主任 | 永井 英司 | 美方郡 |
| | 朝来農林振興事務所 (4名) | | |
| | 森林第2課長 | 上田 敦祐 | 朝来市（旧和田山・山東） |
| | 農政専門員 | 井上 靖 | 養父市（旧大屋・関宮） |
| | 課長補佐 | 濱田 和則 | 朝来市（旧朝来・生野） |
| | 課長補佐 | 尾畑 俊彦 | 養父市（旧養父・八鹿） |
| | 丹波農林振興事務所 (4名) | | |
| | 森林課長 | 雑賀 謙彰 | 丹波篠山市 |
| | 課長補佐 | 久保田 誠司 | 丹波市柏原町・山南町 |
| | 課長補佐 | 上坂 亮太 | 丹波市春日町・市島町 |
| | 主任 | 津禰鹿 信雄 | 丹波市氷上町・青垣町 |
| 計 | 12名 | | |
| 合計 | 43名 | | |

林業従事者向け 研修

(公財)兵庫県営林緑化労働基金の
林業従事者向け研修
本年度の林業機械高度化コース
をご案内します。

- (1) 路網作設スキルアップ研修
8月1日～2日(2日間)
QGISを活用して作業路網を
図上作設した後、現地でそれを検
証します。
- (2) 伐木災害防止研修
7月27日、9月5日、10月～3月
は各一日を設定(1日間)
伐倒練習機を用い、伐倒技能を
検証し、安全な作業方法を学びま
す。
- (3) 特殊伐採スキルアップ研修
8月18日～19日(2日間)
樹上で行う伐採作業を安全に行
うための基礎を学びます。

そのほかにも、森林経営高度化
コースでは、3次元計測システム
活用研修(7月)、森林施業プラン
向上研修(9月)、ドローン活用研
修(10月)を実施する予定です。
お問い合わせは、兵庫県営林緑
化労働基金村上まで
☎078-361-8010

普及たより

森林環境教育く村岡・小代地区小学校 自然学校での間伐体験

但馬県民局 豊岡農林水産振興事務所

1 はじめに
当事務所では、次代を担う子ど
も達が、森林・林業に親しみ、そ
の必要性や素晴らしさを学べる機
会を提供するため、毎年、北但西
部森林組合とともに香美町の村
岡・小代地区の4小学校合同で行
っている自然学校において、森林
環境教育を行っています。
今回は、今年度実施した活動内
容について紹介します。

2 取り組み内容
【開催日】6月2日(木)
【場所】兎和野高原野外活動セ
ンター内
【対象】村岡地区、小代地区の
4小学校の5年生33名
(1) 講話「森の話」
日本や地元香美町にどれくらい
森林があるのかを伝え、その森が
私たちの暮らしにとって、どのよ
うな役割を果たしてくれているの
か、森を守るためにはどのような
手入れが必要なのかについて講話
を行いました。



森の話

香美町の森林率を尋ねた際には、
80%以上と正解を答える子が多く
いました。以前、他市の子ども達
に同じ質問をした際には、実際よ
りも低い森林率を答える子が多か
ったこともあり、普段、森に囲ま
れて生活しているからか、どれく
らい森林があるかも感覚的に解っ
ている子が多い印象でした。

(2) 間伐体験
5つの班に分かれ、間伐体験を
行いました。今年度は、のこぎり
を使って木を伐る体験では、子ど



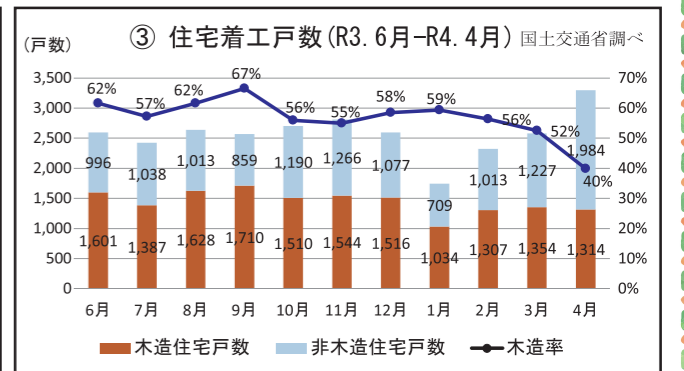
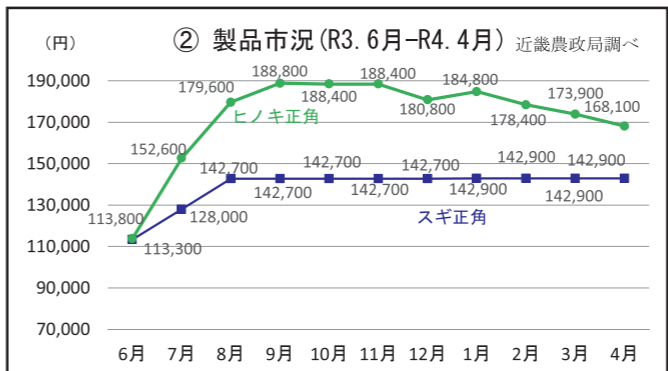
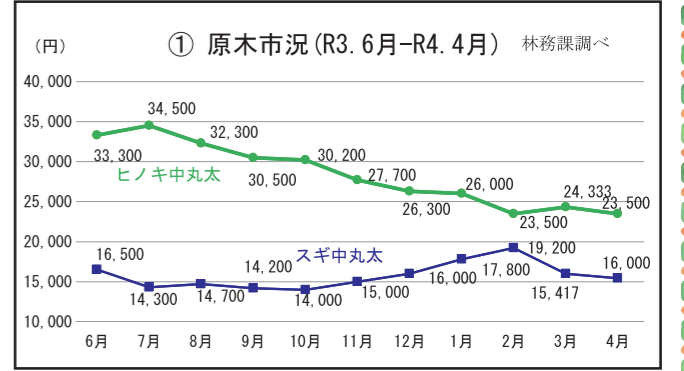
土石流実験装置の実演
【今回より装置をリニューアル!】

「六甲山の災害展」の開催について

- 兵庫県神戸県民センター六甲治山事務所・農林水産部治山課
- 開催日時 令和4年8月16日(火)から28日(日) 9時30分～18時
(入館は17時まで・毎週月曜日は休館)
 - 開催場所 阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」西館1Fロビー
(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2)
 - 問い合わせ先 農林水産部 治山課 計画班 TEL 078-362-3471
 - 新たな「土石流実験装置」の体験展示やパネル展示等を実施します。
 - 「六甲山の災害展ポータルサイト」のお知らせ
ポータルサイトで六甲山で発生した災害の歴史や防災の取り組みなど、様々な
情報を発信していますのでぜひご覧ください。 <https://rokkosan-saigaiten.jp/>

＜兵庫県内の原木市況・製品市況・住宅着工戸数＞

- ・原木は、ヒノキは落ち着きを見せているものの、
スギは合板用材の引き合いが強くなり値上がりして
いる。
- ・製品は、依然高止まりしている。
- ・住宅着工戸数は、1月は落ち込んだものの、非
木造住宅戸数の増加が顕著で木造率は低下した
が、2月以降は戸数が増加に転じている



も達にとって難しく、時間が掛か
る受け口は森林組合職員がチェー
ンソーを使って行い、子ども達は
追いつく伐るところから始めまし
た。このため、スムーズに伐倒が
行え、枝払いの後、輪切りをして
皮を剥き、お土産を作る班もあり
ました。

初めてのこぎりで木を伐った子
が多かったのですが、枝払いを行
う頃には、だいぶ扱いに慣れ、伐
ることを楽しんでる子が多くな
りました。また、無口なおとなしい
子が、伐るのが上手かったりと、
先生方も子ども達の新たな才能を
発見したようでした。



最後、みんなでロープを引っ張って木を倒
します。「木が傾いてきた。あと少し」

(3) 伐木チャンピオンシップ競技デ
モンストレーション
北但西部森林組合から、今年度、



これぞプロの技
あっという間に枝を払っていきます

伐木チャンピオンシップに参加し
た2名の方に、枝払い競技のデモ
ンストレーションを行ってもらい
ました。森林組合では、森林技術
者がカッコいいことをアピールし、
子ども達が将来、なりたい職業に
林業技術者を選んでもらえるよう
このような機会をとらえて実技披
露を行っています。

3 おわりに
毎年、同じ場所で行う間伐体験を行
っているため、林内には光が差し
込む所もあり、林床には稚樹が見
られました。今年の子ども達も、
木を伐った後、林床に光が差し込
むことを見て、感覚的に間伐の大
切さを理解してもらえたと思いま
す。今後も、この活動を継続して
いきたいと考えています。
(森林課長 岡田英樹)

兵庫県立森林大学校主催研修の募集について

大学校では、林業等従事者の技術・経営の高度化を図ること、また森林に関わる人材の育成を目的とした研修を開催しています。受講料は500円ワンコインですので、奮ってご参加下さい。

- | | |
|--|---|
| <p>1 3次元計測システム活用研修</p> <p>① 開催日 7月21日(木)</p> <p>② 場 所 県立森林大学校</p> <p>③ 募集定員 10名</p> <p>④ 募集期間 7月13日(水)まで</p> <p>2 伐木災害防止研修</p> <p>① 開催日 7月27日(水)</p> <p>② 場 所 県立森林大学校</p> <p>③ 募集定員 4名</p> <p>④ 募集期間 7月15日(金)まで</p> <p>3 きのご学講座</p> <p>① 開催日 7月31日(日)</p> <p>② 場 所 三室高原(宍粟市)</p> <p>③ 募集定員 20名</p> <p>④ 募集期間 7月22日(金)まで</p> <p>4 路網作設スキルアップ研修</p> <p>① 開催日 8月1~2日(火)</p> <p>② 場 所 県立森林大学校</p> <p>③ 募集定員 10名</p> <p>④ 募集期間 7月25日(月)まで</p> | <p>5 特殊伐採スキルアップ研修</p> <p>① 開催日 8月18~19日(金)</p> <p>② 場 所 再度公園(神戸市)</p> <p>③ 募集定員 10名</p> <p>④ 募集期間 8月10日(水)まで</p> <p>6 木育リーダー養成研修</p> <p>① 開催日 8月下旬予定</p> <p>② 場 所 未定</p> <p>③ 募集定員 20名</p> <p>7 伐木災害防止研修</p> <p>① 開催日 9月5日(月)</p> <p>② 場 所 県立森林林業技術センター川戸実習舎</p> <p>③ 募集定員 4名</p> <p>④ 募集期間 8月26日(金)まで</p> <p>8 森林施業プラン向上研修</p> <p>① 開催日 9月26~27(火)日</p> <p>② 場 所 北はりま森林組合</p> <p>③ 募集定員 10名</p> <p>④ 募集期間 9月16日(金)まで</p> |
|--|---|

※8月以降の各研修の募集開始時期については、森林大学校研修課(下記問合せ先)までお問い合わせ下さい。

県立森林大学校オープンキャンパスについて

専修学校 兵庫県立森林大学校では、令和5年4月入学(7期生)を目指す方などを対象にオープンキャンパス・学校説明会を開催します。

会場は、いずれの日程も県立森林大学校(宍粟市一宮町能倉)で行います。森林を守り育てる知識や技術に興味のある方、「森林大学校ってどんな学校?」と関心をお持ちの方、一度、実際にご自身の目で確認に来て下さい。

7月と8月の開催日には、JR姫路駅から無料送迎バスも運行します。申込方法等、詳しくは、県ホームページをご覧ください。多くの方の参加をお待ちしております。

入試情報
含め
詳しくは
こちら!

Facebook

ホームページ

YouTube

| 開催日程 | 時 間 | 午前の部(林業体験会) | 午後の部(学校説明会) |
|-----------|-------------|---|------------------------------------|
| 7月23日(土) | 10:00~15:30 | ・チェーンソー伐倒実演 ・ドローン操作体験 ・大学生による成果発表など | ・学校概要 ・就学支援(給付金・奨学金) ・シェアハウス |
| 8月27日(土) | 10:00~15:30 | ・高性能林業機械実演 ・高性能林業機械の試乗体験 ・鹿肉バーガーの試食体験など | ・入学試験の説明 ・校舎見学 ・個別相談会 |
| 10月12日(水) | 13:00~15:30 | | |

問合せ: 兵庫県立森林大学校 TEL: 0790-72-2700

県産広葉樹苗木生産者育成研修のご案内

〜広葉樹苗木生産の担い手の育成を目指して〜

新しい苗木生産技術を活用して、その地域にあった優良な広葉樹苗木を養成する「県産広葉樹苗木生産者」の育成を図るため、県林業種苗協同組合が、県から委託を受けて、広葉樹苗木生産者の育成研修を実施します。



広葉樹コンテナ苗の生産管理
(森林林業技術センター)

専門的な育苗技術を身に付けていただく専門コース(定員10名)のほか、県産広葉樹苗木生産に関心を持っていただくため、1日だけの公開講座も併せて開催します。

【申込締切】8月31日

【お問合せ先】

兵庫県林業種苗協同組合

電話 〇七八三三五一〇七三三四

Hyogo-naegi@axel.ocn.ne.jp

【日程表】 講座番号1・2と3又は4のどちらかを受講。公開講座はどなたでもご参加いただけます。

| 講座 | 日 時 | 内 容【場所】 | 主な講師 |
|----|--------------------------------|---|---------------------------------|
| 1 | 【公開講座】 9月16日(金) 10:00~15:00 | 広葉樹苗木の生産管理、樹種特性、広葉樹の利活用など 【森林林業技術センター講堂】 | 県林業種苗協同組合 理事長、専務、森林林業技術センター研究員他 |
| 2 | 9月29日(木) 13:00~16:00 | 種子の管理、種子採種実習 【緑化センター採種園他】 | 県種苗 日下部理事 岩村専務他 |
| 3 | 10月5日(水) 13:00~16:00 | 広葉樹苗木生産管理実習(北部) 【県立森林大学校多目的室他】 | 県種苗 日下部理事長 岩村専務他 |
| 4 | 10月12日(水) 13:00~16:00 | 広葉樹苗木生産管理実習(南部) 【淡路市黒谷苗圃】 | 県種苗 池本理事 岩村専務他 |

日本伐木チャンピオンシップに挑戦!

北但西部森林組合

日本伐木チャンピオンシップ(以下、「JLC」という)は、林業技術及び安全作業意識の向上や林業の社会的地位の向上、新規林業就業者の拡大等を目的として開催するチェンソーを用いて、チェンソーによる伐木造材技術を競う全日本の競技大会です。

令和4年度第4回目となる「JLC」が令和4年5月21日、22日の両日青森県青森市のモヤヒルズで開催されました。「JLC」は、2年に1回青森県のモヤヒルズで開催される大会であり、本大会は世界伐木チャンピオンシップ(以下、「WLC」という)の日本代表選手を選出する国内予選会も兼ねており、全国各地から選手が参加し「伐倒」や「枝払い」などの5種目を行い安全性やチェンソー技術の正確さ、スピードを競い合い、上位3名が「WLC」に出場できます。今回、兵庫県からはチーム【北但西部】の5名の選手が出場しました。惜しくも、「WLC」出場は叶いませんでしたが、選手達は林業従事者として服装や作業する姿などカッコ良さをアピールし、人材確保・育成と林業普及の



競技の様様



JLC大会概要QRコード

為に役立てていきたいと考えています。そのためにも技術を向上させ労働災害を撲滅して行かなければなりません。「JLC」は、林業の未来にきつと役立ちます。(選手のコメント)

普段の作業において安全面や技術面での意識が大きく変わり、メンテナンスや目立てと言った取扱いの基本からキッチリと行うようになりました。また、新人教育に関しては「JLC」の基礎をもとに指導すると教えやすい上に理解してもらいやすく効率的に指導できるようになりました。

兵庫県内に「JLC」への理解の輪が広がり、競技者が増えることを強く望んでいます。

研究報告

スギ大径材から得られた上下心去り平角の曲げ性能と材面の品質

兵庫県光都農林振興事務所 高山 勉 (元 森林林業技術センター研究員)

1 はじめに

スギ人工林の高齢級化に伴い、大径材が増加しています。大径材では、1本の丸太から梁や桁といった平角材を2本生産すること(心去り二丁取り)が可能となりますが、心去り材は強度面で不安視され、利用が進んでいません。

従来心去り平角の研究は、丸太の半径方向を梁幅方向とするもの(左右心去り平角、図1左)について行われてきましたが、今回はより大径材が活用できる、丸太の半径方向を梁せい方向とする二丁取り心去り平角(上下心去り平角、図1右)について、

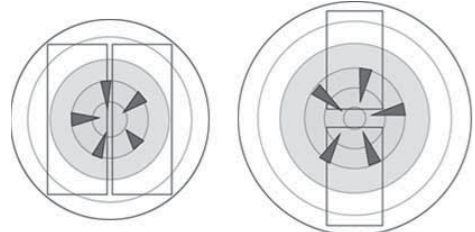


図1 左右心去り平角(左)と上下心去り平角(右)

曲げ性能や材面の品質について検討を行いました。

2 試験方法

兵庫県産の末口径44~46cmのスギ丸太8本を用いて、県内製材工場において、図1右の木取りで16本製材し、人工乾燥させたものを供試材としました。

製材JASに基づく材面の品質の調査の後、万能強度試験機(株島津製作所製、AG-250kNX)により曲げ試験(曲げ破壊試験)を行い、曲げヤング係数と曲げ強さを計測しました。

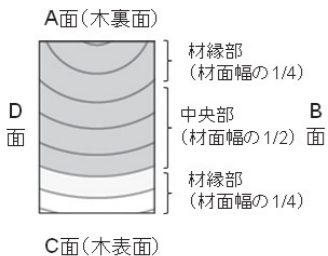


図2 材面の区分(末口側から見た)



図3 曲げ試験の様子(これは木裏荷重)

3 結果と考察

材面の品質は、C面(木表)はA面(木裏)に比べて節が少なく美観に優れていました(図4)。また、節径比(最大節の直径/節の存する材面の幅)は、木表側で値が小さくなりました(図5)。

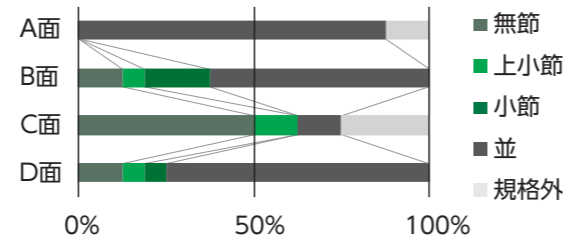


図4 各材面における材面の品質の割合

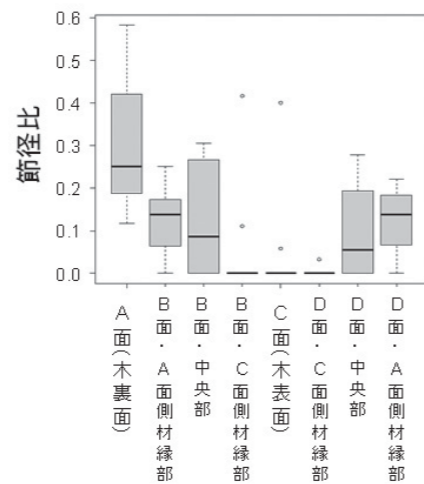


図5 各材面の節径比

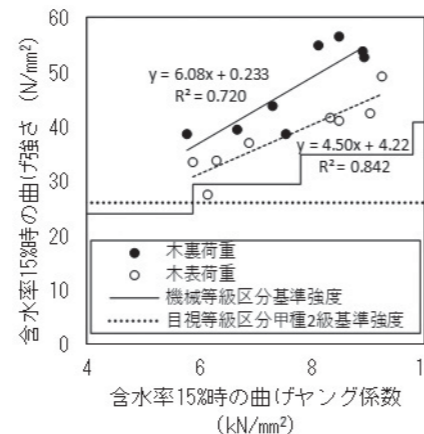


図6 曲げヤング係数と曲げ強さの関係

曲げ試験では、木表面を下側とする場合(木裏荷重)において、すべての供試材が製材JASの機械等級区分構造用製材の基準強度を満たしていました(図6、●は階段状の線よりもすべて上にある)。木裏荷重は木表荷重に比べて曲げ強さが有意に大きく、約1.2倍でした(図6)。

曲げ強さに影響する要因について重回帰分析を行うと、密度が正に影響し(密度が大きいほど曲げ強さも大きい)、下面の節径比が負に影響する(下面の節径比が大きいほど曲げ強さは小さい)という結果になりました。

以上から、上下心去り平角は、節の少ない木表面を下側とする「見せる梁」への利用に適していると考えられました。

“治山・林道測量”

は経験と実績のある



株式会社 石原測量コンサルタント

国土交通省登録第24891号
県知事許可(般-27)第461481号

本社 兵庫県宍粟市山崎町 船元250-1
Tel (0790) 63-1377
Fax (0790) 63-1398
営業所 兵庫県姫路市夢前町筋野1078-3
Tel (079) 336-1418

国土防災技術株式会社

URL=https://www.jce.co.jp/



《調査/コンサルタント業務》
△地質調査業, 建設コンサルタント, 測量業, 環境省指定調査機関
《建設工事》
△特定建設業: とび・土工工事, 土工工事, さく井工事
△一般建設業: 電気通信工事, 造園工事

神戸支店: 〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2丁目1-30三宮国際ビル
TEL (078) 221-2213(代) FAX (078) 221-2611
但馬事業所: 〒667-0043 養父市八鹿町高柳字岸の下137-4
TEL (079) 662-7108 FAX (079) 662-7496



ひょうご木の匠の会

私たちは、兵庫県産木材を使い、人と環境に優しい木造住宅を提案し建築します。

兵庫県産木材の家



ひょうご木の匠の会 会長 日置尚文(日置建設株)
(事務局) 神戸市中央区北長狭通5-5-18 兵庫県林業会議
<https://hyogo-kinotakumi.com> TEL: 078-351-3341

あなたの町の森づくり・木材利用・木育をサポートします。ひょうご森づくりサポートセンター

森林環境譲与税や森林経営管理法に関すること、県産材や地域産材の利活用に関することなど、何でもお気軽にご相談下さい。

■神戸市中央区北長狭通 5-5-18 ひょうご森づくりサポートセンター

森林整備: ☎ 078-381-5425 (兵庫県森林組合連合会内)
木材利用等: ☎ 078-371-0607 (兵庫県木材業協同組合連合会内)
URL: www.hyogomori.jp/sc



JForest 兵庫県森林組合連合会
Hyogo Prefectural Federations of Forest Owners Cooperative Associations

緑の募金へのご協力をお願いいたします

いつも緑の募金にご協力いただき、ありがとうございます。
緑の募金は、森林ボランティア活動への支援や、子どもたちの環境学習などに活用しています。
ご協力いただける場合は、次の方法でお願いいたします。

ご寄附の方法

- 金融機関からのお振込み
 - ①郵便局（手数料不要）
専用の払込取扱票をお送りしますので、当協会にご一報ください。
 - ②銀行（手数料必要）
口座：三井住友銀行 兵庫県庁出張所
普通 3198438 公益社団法人兵庫県緑化推進協会
- キャッシュレス決済
ソフトバンクの「つながる募金」からキャッシュレスでご協力いただけます。

募金のページQRコード

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号
TEL 078-341-4070 FAX 078-341-4071
HP <https://hyogo-green.net/>

兵庫県緑化推進協会 検索



堤名板・林道名板と 森林土木事業の各種標識類の製作・販売

株式会社 林土連研究社
代表取締役 岡田 恒夫

本社 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3永田町ビル6階
TEL03-3580-0907 FAX03-3504-1687
川口支店 〒332-0002 埼玉県川口市弥平3-2-24
TEL048-222-7211 FAX048-222-1914



緑を育み水をつくる水源林造成事業

分取林方式により、水源林造成事業を進めています
対象地は無立木地など、公益的機能の低下した水源かん養保安林です

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター近畿北陸整備局

神戸水源林整備事務所 TEL(078)362-5800
FAX(078)362-5802

兵庫県水源林造林協議会 TEL(078)351-3341
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号
(兵庫県林業会館内)



Husqvarna 550XP/XPG-MarkII

NEW

AutoTune

■排気量：50.1cm³
■出力：2.8KW ■質量：5.3/5.5kg(XPG)

本当の価値が分かる方へ!

安全と作業効率を追求し続けるハスクバーナは、プロが認めるチェーンソーの最高峰です。
革新的な技術を融合し、これまで以上の加速とトルクで他に類のない鋸断能力を発揮します。
新登場550XP-Mark II、ぜひお試しください。

愛林興業株式会社

本社 姫路市飾磨区恵美酒294-3 TEL(079)234-8181番(代)
神崎店 神崎郡神河町吉富1409-2 TEL(0790)32-0570番
但馬店 養父市上野1357 TEL(079)664-2101番



災害のない安全で安心な社会

- 治山、林道、造林事業の推進
- 山地防災・土砂災害対策計画

一般社団法人 兵庫県治山林道協会
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18
TEL:078-371-0210 FAX:078-371-6632

HP 兵庫県治山林道協会



土・木・緑・そして人
とりもどそう 人にやさしい環境

株式会社 グリーン興産
〒671-4141 兵庫県宍粟市一宮町東河内1003
TEL 0790 (72) 1553 FAX 0790 (72) 2327

GREENKOUSAN

営業品目

森林部門……素材生産・森林整備・危険木伐採
土木部門……公共土木・一般土木工事
緑化部門……公共緑化工事・一般造園工事
建築部門……新築・リフォーム・エクステリア工事

E-mail: info@greenkousan.co.jp
URL <http://www.greenkousan.co.jp>



熱中症予防対策

職場における熱中症により、亡くなる方が4日以上仕事を休む方が増えています。そこで、厚生労働省では、STOP（熱中症）を実施しています。各事業場でも、事業者、労働者の皆様ご協力のもと、次の熱中症予防に取り組みましょう!

- ① 休憩場所の整備
身体を過度に冷やすことのできる物品等を設置する
- ② 水分・塩分の補給
水分・塩分の補給を行える飲料水等を備え付ける
- ③ 涼しい服装を着用
透湿性及び通気性の良い服装・ヘルメット等着用する
- ④ 作業時間の短縮
暑さ指数(WBGT値)が高いときは、単独作業を控え、暑さ指数に応じて作業の中止、夫をみるなどの工夫をする
- ⑤ 暑さへの慣れ
暑さへの慣れるまでの間は十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣らす
- ⑥ 水分・塩分の摂取
水分・塩分を摂取する
- ⑦ プレワーク
休憩時間にも体温を下げる工夫をする
- ⑧ 健康診断
結果に基づく措置
- ⑨ 糖尿病、高血圧症、心疾患、腎不全、精神・神経関係疾患、患部広範囲の皮膚疾患、感冒、下痢などがあるため、医師の指示に従って適切な処置を行う
- ⑩ 前日の健康状態の確認
前日のお酒の飲み過ぎはないか、寝不足ではないか、当日の朝食をきちんと食べたかなど、管理者が確認すること
- ⑪ 労働者に熱中症の具体的な症状について説明し、早く気づくことが出来るようにする
- ⑫ 労働者の健康状態の確認
作業中、管理者はもろろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認する

少しでも異常を感じたら

○ 少しでも本人や周囲が異常を感じたら、すぐに病院に運ぶ
○ 病院に運ぶまでは一人きりでせず、必要に応じて水分・塩分の摂取を行い、効率的な体温の低減措置を講じてください

林業・木材製造業労働災害防止協会兵庫県支部
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号 兵庫県林業会館3階
Tel: 078-371-0607 Fax: 078-371-7662 URL: <http://www1.odn.ne.jp/hyogomokuren/rinsaibou/>

エムシー緑化の 林業用薬剤

ススキ ササ地に 松枯防止樹幹注入剤

フレック® 粒剤10

マツガード®

発売元 **正和商事株式会社**

大阪市中央区道修町1丁目3番4号 〒541-0045
TEL 06 (6203) 4541 FAX 06 (6203) 4347

ひょうごの木の物語

第2回 県内最古級の現役木造小学校 (丹波篠山市立八上小学校)



概要 丹波篠山市立八上小学校は、1937年（昭和12年）に建築されて以来85年、現在も当時の姿のまま使われている。学校創立は1873年（明治6年）と来年で創立150年を迎える伝統校で児童数は93人である。

市街から2キロほど南東にある洋風で瀟洒な校舎は、周りの田畑や民家と溶け込み独特のまちなみ景観を呈している。平成26年度には、兵庫県から景観形成重要建造物に指定された。

1988年（昭和63年）から3年間、大規模改修が行われ、2012年（平成24年）に震度7に耐え得る耐震補強と大規模改修が行われた。工事にあたり、85年前の姿を残すよう配慮された。しかし、柱・梁など骨組み以外は造り替えられ、木材は、地元丹波篠山材をはじめ、すべて県産木材が使用された。



天井の高い広々とした教室



85年前のままの階段

特徴

(1) 校舎の外観は、昭和12年建設当時の姿のままで、「大事なことは、今も使い続けていることであり、今後も大切に使い続けられること」と小田環校長は言う。

(2) 地域住民にとって、木造校舎は三代代にわたって、学び、遊び、親しまれたもので、地域のシンボルとして認知され、改修工事を重ねる度にも、「建て替え」の声は出なかったという。

(3) 耐震工事にあたり、大規模木造校舎での耐震

補強事例がないため、「E-ディフェンス」での実験データ等を活用して、耐震補強方法が検討され、県下の木造校舎保存活用のモデルとなっている。



美しく光る廊下



地元ヒノキ製学習机



校舎表玄関

木育の取り組み

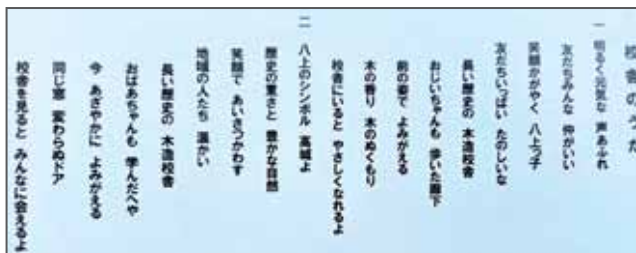
(1) 丹波篠山市は木育に力を入れている。市内14小学校には、全児童に丹波篠山産ヒノキの学習机・イスが配付され、6年間使用後、天板を記念に持ち帰り、机自体は次の1年生にリユースすると市教委学事課の山本毅課長は言う。

児童による「木造校舎」の作文から、珠玉の言葉を紹介します

- ・わたしの一番の誇りが85年も使っている木造校舎、大人になっても残していきたい。地域の人にとっても大切な校舎です。
- ・お母さん、おじいちゃんも使っていた。全然形も変わっていない。
- ・これまで使っていた人が大切に使っていた、すごきれいな学校。

(2) 児童、住民、教職員によって作られた「校舎のうた」（平成24年作）があり、いつも音楽の時間に校歌とともに歌われている。

小田校長は、普段から子どもたちがつい口ずさむほどに親しまれていると言う。



(「ひょうごの木の物語」取材チーム 菅原 健)